

事業概要（1/2）【マイナンバーカード×デジタルサービスによる生活インフラ実装モデル】

※公表資料として作成すること。

昨年度の取り組み

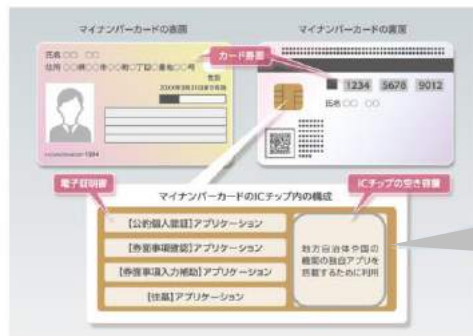
自治体名	富山県朝日町	人口	10,525人	事業費	103,670千円
概要	マイナンバーカードを核に、公共施設/サービスや町政の最適化を目指すデータ基盤整備を推進。R5年度は、マイナンバーカードに、公共施設やサービスでのポイント獲得/LINE情報サービスを付加した「公共サービスパスLoCoPi」を実装、住民生活の中でのマイナンバーカード活用を推進。R6年度は、マイナンバーカード活用の多層化を目指し、①地域通貨サービス②防災サービス③域外向けLINEアプリサービスの、3つの新規サービスを実装することで、より生活の中で使われるマイナンバーカードを目指す。				

背景となる課題：高齢化社会での「持続的な生活インフラサービス」提供を実現するデータ獲得/再価値化の推進

- ・ 少子高齢化が進む中、生活に密着した公共施設/サービスは持続が難しく、効率化と共に利用者増を見込めるようなDX推進が必須
- ・ 一方で、公共サービスは高齢者や子供の利用も多く、領域や施設を横断した利用者データ取得すら極めてハードルが高い。
- ・ 朝日町で交付率80%を誇るマイナンバーカードを核に、朝日町全体のサービスの利用者データ取得/再価値化を推進する。

R5年度概要：マイナンバーカード利用を拡充する公共サービスパス「LoCoPi」を社会実装→既に1500人以上の利用

マイナンバーカードの空き容量を活用



ICチップ内の空き容量に、ポイント/チケットシステムのIDを書き込み



書き込みIDと連携するLINEミニアプリを実装、公共施設や公共サービスでの利用やポイント獲得データや、情報発信/見守り機能なども実装



※上記全体を公共サービスパス「LoCoPi」として提供

LoCoPi
ロコピあさひまち

※昨年度提出段階では「みんなんばーカード」と記載

ポイント獲得/チケット決済を実装@公共施設



社会実装後1か月(2月中旬)で 1500人超の登録/3万回超の利用



LoCoPi端末は公共施設中心に今年度約50箇所に配置
取得データによって公共施設の最適化/町政の最適化を目指す

子供や高齢者の見守りサービスも実装



事業概要（2/2）【マイナンバーカード×デジタルサービスによる生活インフラ実装モデル】

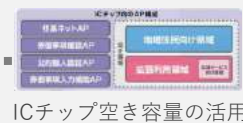
※公表資料として作成すること。

今年度の取り組み

自治体名	富山県朝日町	人口	10,525人	事業費	103,670千円
概要	マイナンバーカードを核に、公共施設/サービスや町政の最適化を目指すデータ基盤整備を推進。R5年度は、マイナンバーカードに、公共施設やサービスでのポイント獲得/LINE情報サービスを付加した「公共サービスパスLoCoPi」を実装、住民生活の中でのマイナンバーカード活用を推進。R6年度は、マイナンバーカード活用の多層化を目指し、①地域通貨サービス②防災サービス③域外向けLINEアプリサービスの、3つの新規サービスを実装することで、より生活の中で使われるマイナンバーカードを目指す。				

R6年度概要：マイナンバーカードは、新規サービス追加/LINE連携強化で、朝日町全体で使える生活インフラ基盤に。

マイナンバーカード基盤活用：基本的な考え方は全サービスで共通



新規サービス
ICチップ空き容量を活用することで、マイナンバーカードに多層サービスを実装

LINEミニアプリ
サービス利用登録/情報配信/多層サービス連携など、サービス利便性を向上

R5年度

公共サービスパス「LoCoPiあさひまち」
社会実装済み

公共施設や公共サービスでのマイナンバーカード利用促進

- チェックイン
- ポイント獲得
- 入場/利用チケット決済 など

+

各分野の共助型サービス連携

- 地域交通
- 地域教育
- 地域福祉
- 地域脱炭素 など

R6年度

New

地域通貨サービス「あさひまちコイン」
新規での社会実装



朝日町内の多様な施設/事業者が利用できる地域通貨サービス

- マイナンバーカード決済機能
 - 現金チャージ機能
 - 運用管理システム
 - 手数料管理システム
- LINEポイント換金機能 など

※詳細は4ページ

R6年度

New

防災サービス「あさひまちレジリエンス」
新規での社会実装



朝日町内の避難所施設での避難者管理や住民安否確認サービス

- 避難者受付支援システム
- 住民安否確認システム
- データ可視化ダッシュボード
- ID⇄自治会名簿連携機能
- LINEオープンチャット機能など

※詳細は5ページ

R6年度

New

域内外交流LINEアプリ「あさひまちFUN」
新規での社会実装



朝日町外の交流人口向け朝日町ファンCRMサービス

- QRコードポイントシステム
- QRコード決済システム
- ファン育成CRM機能
- 域内外交流AIチャットボット
- 朝日町ファンLINE開発 など

※詳細は6ページ

データ連携基盤：地域内の人や通貨の移動を活性化し、地域内経済循環を促進する

※朝日町の地域内経済循環率は富山県最下位レベル